御料理仕出し
うどん　そば
天　ぷら
鰻　蒲　燒
まつ屋

◎のどかな春！
旅行に！散策に！
皆さん御待ち兼ねの……
春の中折
鳥打帽子
子供さんの帽子
本月のウエンドウは春帽を陳列致しましたから御批評下さい
ツルヤ
四丁目
電話百四十番

ホシゴム長靴
協ナ
大賣出し
筒型劍型二重のキャンバス入重要點は五枚張り、殊に中芯に獨特の技術に依り、銅鐵の如く堅く、而も非常に輕くクギも通らぬ新案品であります、
一度は來て見て下さい……
正價四圓五十錢ノモノ　特價四圓
四圓ノモノ　三圓五十錢
（但シ九文七分以上）
三圓ノモノ　二圓八十錢
二圓五十錢ノ物　二圓二十錢
二圓ノモノ　一圓八十錢
平町郵便局隣電話四二九番
ホシチエーン
ストアー

理想的耐水耐熱接合劑
キングパスト
◎水か微温湯で溶せばすぐ使へる簡單な膠着劑
一名コナニカワ
◎四季を通じ一度ついたら膠着力は絶對的です
◎理想的完全耐水耐熱の可驚威力を發揮し防腐の効果著し
小野屋藥店
電話一四四番

募集廣告
一、小店員　本年尋常及高等卒業者　三名
一、女中（有給）十三才より十五才尋卒以上　壹名
一、家具見習徒弟　本年尋卒以上者　五名
右御希望者は至急面談せられたし
丸はん家具店
營業所　平町三丁目（電三五九番）
製作所　平町新田前（電七二三番）

瓶詰販賣滿一週年紀念
銘酒　乃鶴
特撰賣出し
壹升瓶詰　一本　壹圓四拾錢（空瓶交換レッテル付）
壹斗樽詰　一本　拾貳圓（樽ヌキ）
（但從來の瓶詰價格並に空瓶交換の方法は從前の通り）
平町四丁目（中驛前通り）
永山酒造店　總發賣元
電話二〇七番

耳鼻咽喉科專門
場所（舊診療所裏通り）
合津醫院
平町仲田町（電話五五九）

生徒募集
一、本科　五十名
一、師範科　五十名
一、裁縫專修科　百名
一、專攻科　二十名
文部大臣認可
藤田女學校
願書提出　三月三十日マデ
詳細ハ本校規學則請求ノコト

高久病院
院長　醫學士　高久忠
副院長　新潟醫學士　赤羽清
藥局長　藥劑師　佐竹菊雄
平町田町　電話五一三番

内科、小兒科、花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平五〇七番

母ハヤ儀　八十五歳ノ高齢ニテ今十日午前十時三十分永眠致候間此段御通知申上候
追而三月十二日午後二時自宅出棺平町大寶寺ニテ葬儀執行致候
昭和四年三月十日
福島縣石城郡平町搔槌小路
男　市原卯太郎
親族　市原陸太郎
總代　青沼鋒太郎
武藤武郎

常磐毎日新聞
三月十一日夕刊
日刊　發行兼編輯人　川崎文治
印刷人
本社ト同番地（電話六三〇番）
印刷所　常磐毎日印刷所
定價　一部金貳錢　一ケ月金貳錢　稅五厘
廣告料　（五號十二字詰一行）一日　五十錢
休刊日　日曜大祭日　祝日ノ翌日
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社
電話六三〇番

生徒募集
本科第一部　二ケ年卒業　五十名
本科第二部　三ケ年卒業　五十名
技藝高等科　二ケ年卒業　五十名
仝　專攻科　一ケ年卒業　三十名
入學資格
本科第一部　高等二年卒業若クハ之レト同等以上ノ學力ヲ有スルモノ但シ本科第二部ノ卒業生ハ特ニ第二學年ニ編入ス
本科第二部　尋常小學校六年卒業若クハ之レト同等以上ノ學力アルモノ
技藝高等科　高等小學校卒業若クハ之レト同等以上ノ學力ヲ有スルモノ但シ高等小學校ヲ卒業シ相當ニ裁縫ノ素養アル者ハ詮衡ノ上二年ニ編入ス
技藝專攻科　本校各科卒業生　高等女學校及實科高等女學校ヲ卒業シタルモノ專門學校入學檢定ニ依ル試驗檢定合格者
右各科共入學を許可す希望者は入學願書に履歷書を添へ三月末日迄に本校宛提出のこと
福島縣平町（電話四四五番）
文部大臣認可　平陽女學校

肉聲其まゝの高級
ビクターレコード枚1.50錢
日本物と音樂
蓄音器針は
ビクター針先　35錢
一度御試聽下さい
蓄音器・貴金屬
會田時計店
平町四（電三六三）
正確ナ体溫器
寒暖計
關内藥局
電四〇番

愛谷セキ工事の設計を模様替へ

農林省杉浦技師來郡し十日實地調査を爲す

石城郡愛谷堰工事は三ヶ年繼續の縣事業として總工費二十六萬四千圓を投じ昭和三年度から工事を進めつゝあつた事は既報の如く今年度中に工費十萬圓で完成を見る豫定であるが縣當局では着工以前の工事設計書に不備な點があるのを認めた結果設計の樹直しをする事となつた即ち江筋の取入口を從來より更らに百五十間上流に設置する筈で目下調査を急いでゐるが十日農林省の杉浦技師は縣係員を隨えて來郡實地の調査を爲すたが氏の調査にもとついて遺憾ない設計書を作成する事と信じてゐる尚同江筋は水田二千餘町歩灌漑排水の直接關係ある大事業であるだけに特に愼重な態度をもつて工事に當る筈である

大修理を加へて磐城丸の大活躍

無電裝置で漁狀報告好結果を期待される

小名濱水産試驗場磐城丸は新造以來六ヶ年を經過してゐるので第一回の船体檢査期となつたので其の準備として目下根據小名濱港に於いて船体及び機關等の一大修理中であるが機關のボーリングは昨年行つたので今年は主としてスクリューシャフト等の修理に全力を注ぎ本月下旬までには全部の工事を終了した上四月初旬東京隅田川口に廻航の上特別檢査を受け直ちに歸港今年最初の出漁の豫定であると言ふが磐城丸今年最初の出漁は鮪延繩漁業に着手おもむろに鰹漁に取りかかる豫定であると尚書入中の書入とも言ふべき鰹漁に際しては特に萬全を期する爲めに安中式無電器を船内に据付漁場其の他に關しては各濱漁業組合其の他に急報なし得る樣の設備を施す筈であるが其の結果は非常な好成績を上げ得るものゝ見られてゐる

死体から腦味噌を盗む

迷信の隱亡燒　恐ろしい犯行

石城郡好間村字上好間同村火葬場隱亡燒き高橋藤三郎は九日午後五時半ころ八日死亡した同村佐藤は（五）の火葬を依頼された際關係者立ち去つた後頭部を長さ三尺餘の鐵棒で打ち碎き腦漿全部を取出しこれを器に入れ自宅に持ち歸つて素知らぬ振りをしてゐたこと十日平署で探知直ちに同人を逮捕本署に連行目下鯨岡司法主任係で嚴重取調中だが同署ではこの種の事件は全く珍らしいことであるなほ藤三郎がこの罪を犯すに至つた動機を探聞するに同人は二十五年前木挽職をなしてゐた際臀部に一寸した傷を受けたのが二十五年後の今日に至り痛み出し知人よりその傷には人間の腦漿がよいと聞かされたゝめこの始末に及んだもので取つた腦漿は未だ手をつけてゐなかつた

中堅農民會歌決定

農事思想普及の目的で　全郡下農村に宣傳

石城郡農會では目下平町元石城郡役所に於いて開催中の中堅農民養成講習會々員からかねて會歌の募集中であつたが左記作品を入選歌と決定した

一、怒濤激する大平洋、大空限る磐城富士、海と山とのあひの里、こゝに我等のかためたる傳統正しき理想鄕〳〵

二、今人生の春淺し、九旬の光り失せぬ間と、希望に燃ゑて住む年の、樂しき星霜若やぎてうたひ續けんほごらかに〳〵

三、地の惠に目醒と先驅の雄姿意氣高く、はずむか友の胸〻胸、若き誇りの雄叫に、青春の血は湧き返へる〳〵

四、嗚呼うるはしの理想鄕幾度花は咲き返り自然の力見よやとて呼び返さるる我が魂を常住久遠と讃なむ〳〵

以上の入選歌は今後會歌として公定全郡下農村に普及宣傳に努め農事思想の啓發に資する筈である

磐女卒業式

來る廿日同校で

縣立磐城高等女學校第十七回卒業證書の授與式は來る廿日午前十時から同校講堂に於いて擧行する筈である

市原氏母堂

ハヤ子刀自逝去

平町市原病院長市原卯太郎氏母堂ハヤ子刀自は豫ねて病氣療養中の處遂に昨十日午前十時三十分逝去された享年八十五才尙葬儀は明十二日午後二時自宅出棺大寶寺に於いて告別式を執行する筈であるが現石城郡醫師會長として信望篤い市原氏の今日あるは幼時よりの市原氏の薫育に一身を忘れた刀自の賜である事は好く人の知る處である

木炭檢査員會議

濱三郡木炭同業組合では十日午前十時から組合事務所内に於いて檢査員會を開き來る四月一日から實施する等級檢査の檢査方法其の他に就いて協議した

明日の天氣豫報

北西の風　やゝ强晴

平商業校卒業式

優等生及び卒業生氏名

平町立商業學校第九回卒業生は次の如くである

△優等生　山本金三、同武田金一、同石垣光美、以下（イロハ順）

石垣光美、岩佐光明、岩瀨武雄、井上茂、伊關正治、一之瀨一男、伊藤良高、林正春、新妻宮治、本間鐵男、堀川重繼、豊田文男、豊田武、小野寅次、太平實、小野正二、大和田重正、小野瀨英治、大越佶、大和田一郎、大木昇、渡邊喜一郎、渡邊武久、渡邊芳輝、藁谷英雄、菅野重雄、鍵谷一衛、吉田明、武田金一、高木竹次郎、丹野勝榮、田邊正二、根本敏雄、永木茂永山滿、梅原一男、草野喜一、山本金三、山野邊正久、安田勇藏、馬目健、馬目唯介、松本茂雄、小谷大三、阿部正四、青木練治、青野芳夫、會川四郎、阿部明、阿部克英、荒忠一、阿部正一、佐々木壽太郎、酒井貢、佐藤藤四郎、佐藤政實、酒井政直、酒井謙一、佐藤武雄、酒井十良、酒井進、北村貞雄、北林清、志賀榮一、篠崎忠善、柴田弘一、諸橋武、鈴木倉太、鈴木勇、鈴木增男、助川金一

△在學年間無缺席生　助川金一、石垣光美、林正春、佐藤々四郎、豊田文雄、草野喜一、豊田武、梅原一男、太和田一郎、荒忠一、藁谷英雄、山野邊政久

日まして多い男女家出人

今日だけで三件

日增しに春めいて南技の梅は既に綻んだが此の人の心が自然に連れて浮かれ出す春は一年を通じて家出自殺等が一番多い時である、縣下の各署を通じてすべての事故が一番多い、平署の窓口には家出人の捜索願ひは毎日塊れるが十日は女ばかりの家出三件が願ひ出て來た、春は人の氣を浮き立たせる斯うした家出人等は毎日春の深むと共に多くなつて行く

◇

石城郡赤井村福島炭礦坑夫鈴木市太郎妻鈴木チヤウ（四九）は五日午前八時頃無斷家出したが同人は精神に幾分異狀を呈して居るので自殺のおそれがあると

◇

石城郡内鄕村字大川平浪花炭礦夫高木明重内縁の妻雲藤キヌ（二）は六日朝突然家出して行衛不明、夫の明重が八方心當りを訪ねたが皆目不明なので平署に願ひ出た

◇

東京府下高田町雜ヶ谷倉吉養女吉田鶴代（二七）は夫勝亮と二人の子供を置き去りして去る四日無斷家出同人は石城小名濱高木清次郎の娘で倉吉方に養女になつたもので實家に歸つたのではないかと十日平署に捜索方を願ひ出た

精米屋の小僧絞殺さる

犯人は精米器

石城郡川部村生れ當時泉村大字瀧尻精米業佐藤金次方雇人荒川一郎（一六）は去る八日午後四時頃麥搗作業中精米モーターのベルトに首を捲き付けられて絞殺されたが機械に首を捲かれたのは稀らしい出來事である

家庭欄

着物の穴の繕ひ方

一針は九針を節約するといふ諺がありますが着物でも破れ目の小さいうちに手まめにくつろひさへすれば大きくなる憂ひはないわけです。ラシヤ類の小さい蟲穴は似よりの羽二重か何かを裏にあて裏に針目のないやうに穴の兩側からくつてからげ裏の方から水をつけて火のしで押ます。鍵ざきもこの方法によることがよいやうです。また大きい蟲くひの穴は同じ布切れを布切れとの間をすくひながらこまかくかゞつてゆきます。極小さい穴は布切れをあてずとも同色の糸でかゞつてコテをあてるともと通りになります、もし小さくなつてゐたら袖の縫目に同じ布地のまちを入れますと大抵間にあひますが既製品では縫こみが少いので出來ません